

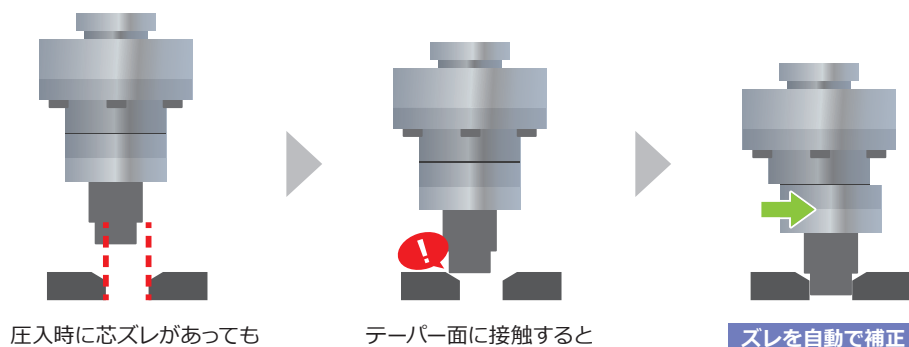


芯ズレを自動で補正することで
ワークの破損や変形を防ぎ
正確な判定を行えます

- 圧入速度を上げてワークの破損のリスクは低減
- 1つのプレスで複数の穴に圧入する場合の芯合わせが楽に
- 偏荷重を防ぎ、設備や治具の摩耗を低減
- 治具の付替えて芯がズレても大丈夫

CE RoHS2

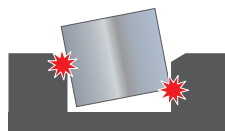
使用イメージ



ワークの破損や変形を防ぎ、歩留まり率を向上



キズ、こすれ、割れ、オイル漏れなどを防ぎます

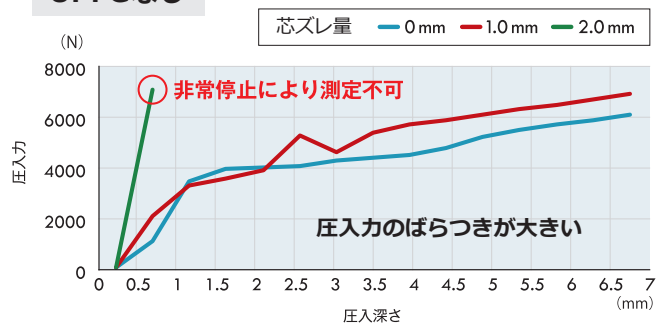


遊びによるズレ、無理な押込みによるワークの破損や変形を防ぎます

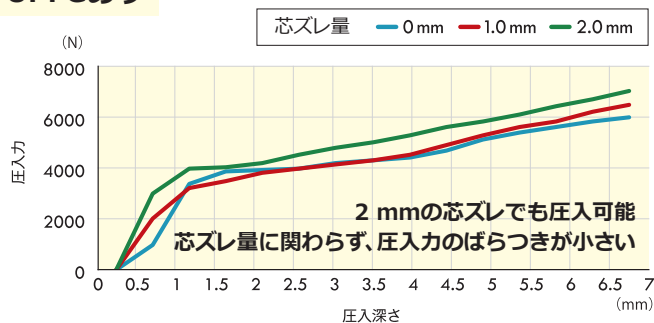
毎回同じ条件で判定が行えます

芯がズレていると圧入荷重が上がってしまうことがあるため、異常荷重が出た際の原因が芯ズレなのか加工精度なのか判別できません。UPFGで芯ズレを補正できれば加工精度による要因のみで良否判定が行えます。

UPFGなし



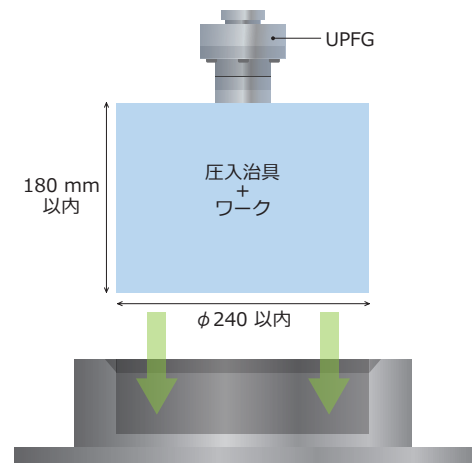
UPFGあり



仕様

型式	UPFG-20KN	UPFG-50KN
定格容量	20 kN	50 kN
本体	5 kg (下向きに使用する場合に下側に取付けられる治具の最大重量)	
圧入ツール負荷容量	±2 mm	
天板可動範囲(X・Y)	原点時:±6.6°	
天板可動範囲(θ)	2 mm ストローク時:±1.4°	2 mm ストローク時:±1.1°
繰返し精度	水平:±0.5 mm 回転:±1.0°	
始動抵抗	約 7 N (最大ツール負荷 5 kg を搭載した状態での数値)	
セット荷重	200 N±10% (天板が垂直方向に収縮し始める荷重)	
着座荷重	400 N±10% (天板が本体ベース部に着座する時の荷重)	
加圧重心範囲 (加圧時の重心範囲)	天板中心より φ22 mm 以内	天板中心より φ30 mm 以内
垂直ストローク	約 0.5 mm	
重量 (ロードセルを含む)	約 1.9 kg	約 2.8 kg
ロードセル	約 2 mV/V	
定格出力	150% R.C.	
許容過負荷	±20% R.O.	
ゼロバランス	0.5% R.O. 以下	
非直線性	0.5% R.O. 以下	
ヒステリシス	0.3% R.O. 以下	
繰返し性	0.75% R.O. 以下	
補償温度範囲	0 ~ 60℃	
零点の温度影響	0.5% R.O./10℃ 以下	
出力の温度影響	0.5% R.O./10℃ 以下	
入力端子間抵抗	約 1000 Ω	
出力端子間抵抗	約 1000 Ω	
推奨印加電圧	10 V	
最大印加電圧	15 V	
絶縁抵抗 (DC 50 V)	1000 MΩ 以上	
ケーブル	φ6.1 4芯シールドロボットケーブル 3 m 先端柳線	
カラーコード	+EXC:赤, +SIG:緑, -EXC:黒, -SIG:白, SHIELD	
ロードセル材質	ステンレス	
RoHS指令	2011/65/EU (EU)2015/863	

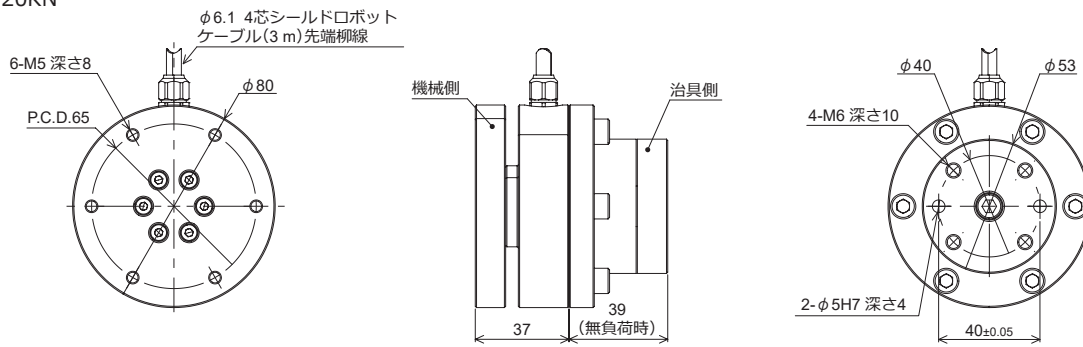
● 使用可能サイズ



外形寸法

単位: mm

■ UPFG-20KN



■ UPFG-50KN

